



静内消防団第1分団後援会創立60周年 4/2

消防団活動を支援している、静内消防団第1分団後援会（細川好弘会長）が創立60周年を向かえ、記念式典がホテルローレルで行われました。

式典に先立ち、ホテル前で第1分団まとい隊がまといの舞を披露。式典では細川会長が先輩会員や関係者に感謝の意を表し「地域住民の防災意識を高め、今後も地域に貢献できる後援会活動を進めたい」とあいさつしました。



レキシントン市友好親善訪問団派遣 3/25~4/2

姉妹都市の米国レキシントン市を、今年度の友好親善訪問団（山口理絵団長ほか9名）が訪れ、学校訪問や市内の施設見学、市長への表敬訪問のほか、ホストファミリー宅でのホームステイなどを通して異国文化を学び、交流を深めてきました。

帰国した団員は「言葉が通じないなかでも、心を通じ合えることができた」「もっと英語の勉強をして、また行きたい」などと話していました。



ソフトテニス全国大会出場 3/24

「第9回全国小学生ソフトテニス大会」への出場を前に、東静内小学校5年生の原拓斗さん、富永健成さんペアが、役場静内庁舎を訪れ、町長に健闘を誓いました。

これは、1月9日に札幌市で行われた予選で、準優勝し全国出場を決めたもので、2人は「今回の大会でよい結果を残し、夏の大会につなげたい」と意気込みを述べ、町長は「遠くに行くので体に気をつけて、頑張ってください」とエールを送りました。



暴力追放功労者表彰受賞報告 3/25

静内地区暴力追放推進協議会副会長の不動健治さんが平成21年度暴力追放功労者表彰を受け、鳥居塚静内警察署長とともに役場静内庁舎を訪れ、町長に受賞の報告をしました。

不動さんは、約20年の永きにわたり暴力追放活動に尽力されており「受賞はとても光栄。今後は後進の育成に力を注ぎたい」と述べられ、町長は「長い間の活動に、大変感謝いたします」とたたえました。

# ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



白寿祝状授与 4/19

中村信治さんが白寿を迎え、入院中の本人に代わり、長男の宏さんが酒井町長から祝状、中村裕貴町社会福祉協議会会長から記念品を受け取りました。

信治さんは、74歳まで漁師として現役で働き、昭和50年には漁業の開発振興に寄与されたとして北海道産業貢献賞を受賞されています。

お祝いの言葉に宏さんは「ありがとうございます。本人にも早く伝えたいです」と話していました。



町民フォーラム 3/18

町民有志団体「金曜フォーラム」主催の『住民基本条例を考える』町民フォーラムがホテルローレルで開かれ、参加者は住民基本条例について議論を重ねました。

参加した6人の町議会議員がそれぞれ「策定には町民の参画が必要」「町民にも情報公開していく必要がある」などと講話し、参加者からは「条例を作った後が大事。根付かせるためには町民の意識改革も重要だ」などの意見が挙げられていました。



サッチェアガ（鮭の燻製づくり） 4/20

北海道アイヌ協会新ひだか支部による、アイヌの伝統的保存食サッチェア（鮭の燻製）づくりが、静内真歌のチセで行われ、参加者は、アイヌの伝統文化に触れました。



子育て支援センター活動中 4/16

静内子育て支援センターの活動が静内保育所内に移転して始まり、親子づれで賑わっています。ぜひ一度、遊びに行ってみてはいかがでしょうか。



花いっぱい運動スタート 4/12

今年度の花いっぱい運動がスタートし、町農業実験センターで約7万本分のマリーゴールドの種を植えました。育った花は6月上旬に、自治会等に配布する予定です。



新入学児童への交通安全啓発 4/7

春の全国交通安全運動の一環として、町内の各小学校で、新入学児童への交通安全啓発が行われ、静内警察署長などが児童にバッジをとりつけ、交通安全の呼びかけをしました。